

はじめに

本書『目黒区の教育』は、令和２年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校・園では臨時休校や分散登校から始まり、運動会や自然宿泊体験教室など多くの学校行事が中止や延期となるなど教育活動が制約を受けたほか、社会教育館や図書館など生涯学習施設の利用制限や、成人の日のつどいの中止など、子どもたちの学校生活や区民生活に多大な影響がありました。

このような状況の中、学校・園においては「教育活動再開マニュアル」及び「衛生管理マニュアル」に基づき、感染症対策を徹底したうえで、様々な工夫を凝らし、例年とは異なる形ではあっても教育活動を継続し、その取組を保護者の皆様へ伝えてまいりました。

また、学校・園に通う子どもたちへの家庭学習支援のための図書カードの配付、学校再開後一定期間の学校給食費の支援や収入が激変した保護者への就学援助の柔軟な対応などを行いました。

さらに“新しい生活様式”を踏まえた教育活動を着実なものとしていくために「GIGAスクール構想」の早期実現に向けて、児童・生徒１人１台の情報端末整備を当初の予定よりも早めるとともに、学校施設に係る対策として、手洗い場の一部自動水栓化などを進めました。

このほかにも、今後３０年間の長期的な視点に立った「目黒区学校施設更新計画」の策定や、継続的に取り組んでいる教職員の働き方改革の推進など、個々の課題に適切に対応してまいりました。

今後も、子どもたちの安全・安心を第一に、学校教育から生涯学習の分野までをしっかりと支えていけるよう、状況の変化を的確に捉えながら、様々な課題に対応してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和３年８月

目黒区教育委員会教育長

関根義孝